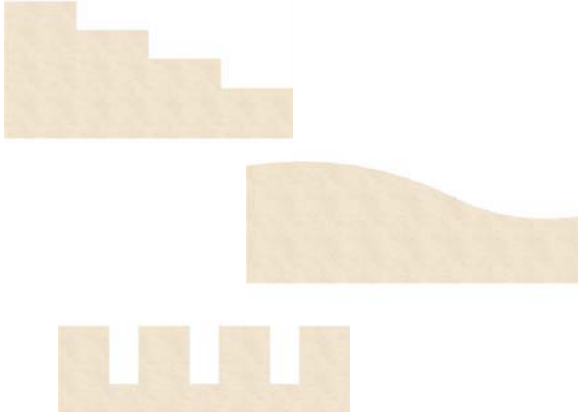
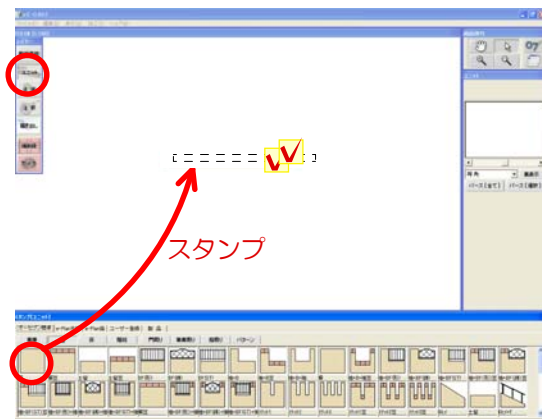


塀の設定

様々な塀の作成方法です。

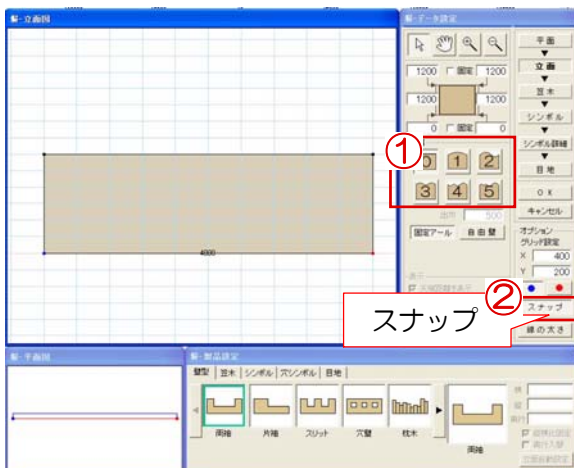


スリットや塀の天端を断落ちにしたり、様々な塀を作成する事ができます。




操作手順

1：ユニットのレイヤで塀を配置し塀の上をWクリックして塀を起動します。




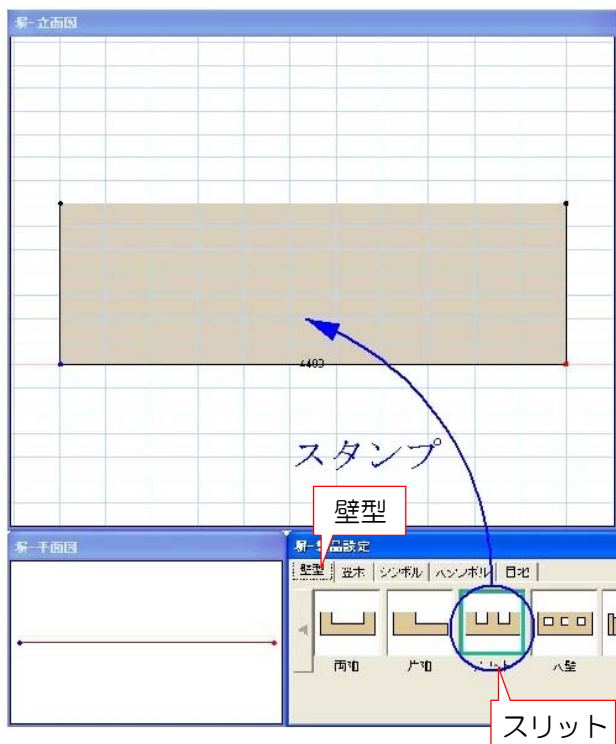
天端がRの場合

1：①まっすぐな塀か、1アール～5アールまで選択することができます。

 固定アールでは変形しようとする、カーブ形状が固定で動きます。
(例) 2アールを選択し、方方のアールを変形すると、もう片方のカーブも一緒に動きます。

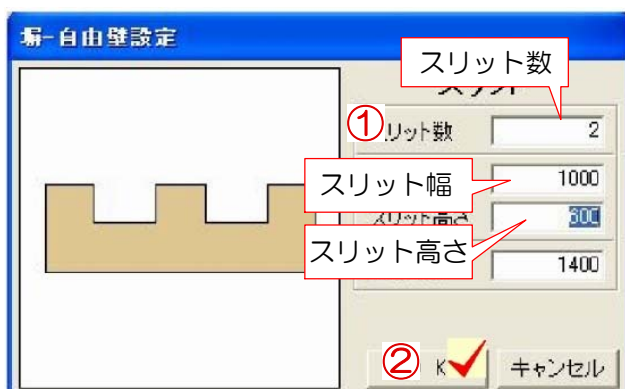


 ②のスナップが選択されているとグリッドにそってRの形状が変形するようになってます。グリッドに吸着させない場合はクリックでスナップをはずしてください。




塀がスリットの場合

1：下の壁型からスリットを選択し、立面に向かってスタンプします。

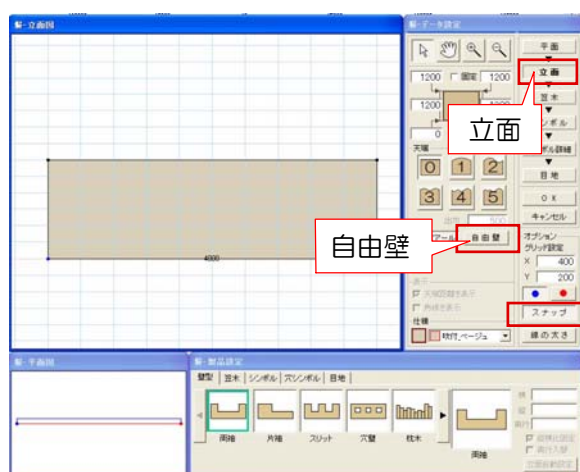


2：スリットの数・スリット幅・スリット高さをそれぞれ入力しOKを選択します。

 壁高さはあらかじめ立面で高さを設定しておきましょう。

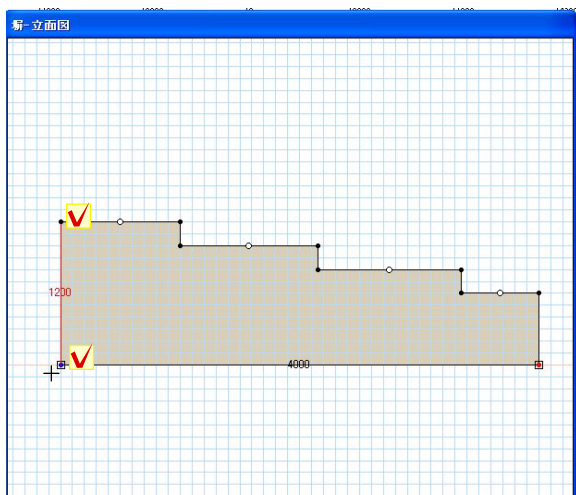
 【もっと詳しく知りたい方は。。】

 [スリット塀]で検索



塀が断落ちの場合

1：立面を選択し、自由壁をクリックで選択します。



2：自由に描く方法は、矢印を塀の下端の●or●マークの所にあわせて マーク十になったらクリックし一辺づつ描く事が出来ます。



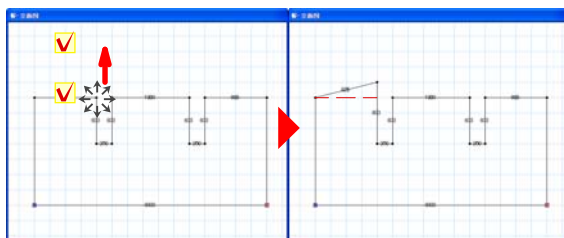
【自由に描く際に】


表示グリッド設定を描きたいスパンに合わせて変更すると、描きやすくなります。(例) CBサイズ(400×200)に入力するとブロック割に合わせて作図が出来ます。



【補足説明 自由塀の形状変更方法】

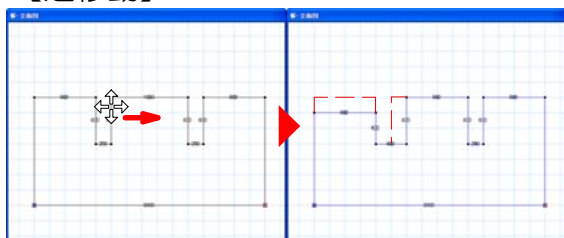
【頂点移動】




頂点(●)にカーソルを合わせて
で頂点を移動します。
 頂点が移動します。

※Shiftを押しながら移動させると、
 全ての天端が一気に移動します。
 (両サイドの●のみ)

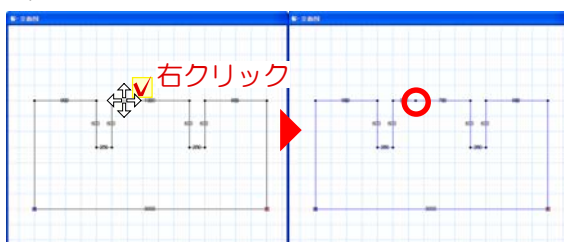
【辺移動】




辺にカーソルを合わせて
で移動します。

辺が移動します。

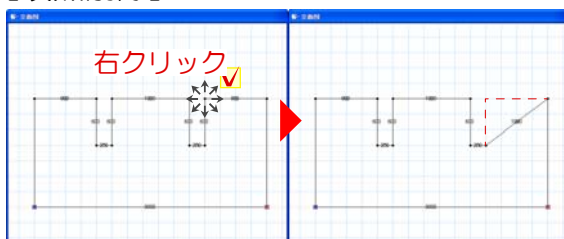
【頂点追加】




辺にカーソルを合わせて
で右クリックします。

頂点が追加されます。

【頂点削除】

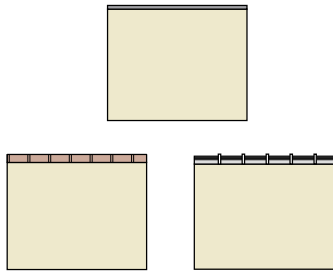


頂点(●)にカーソルを合わせて
で右クリックします。

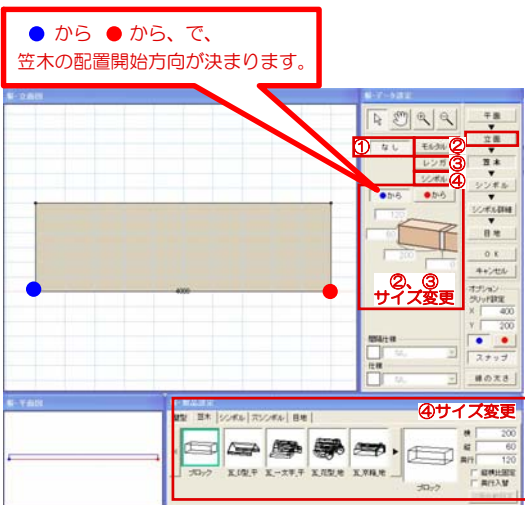
頂点が削除されます。

笠木の設定

笠木の設定方法です。



塀の上に様々な笠木を配置する事ができます。



● から ● から、で、笠木の配置開始方向が決まります。

笠木の特徴

1：笠木の種類によって使い分けます。サイズの変更も可能です。



【自由壁の場合】

笠木をつける天端を  マークでクリックすると笠木が配置されます。

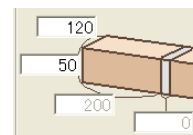
笠木の種類

1：① 笠木を消すとき使用します。

2：② モルタルの笠木作成できます。

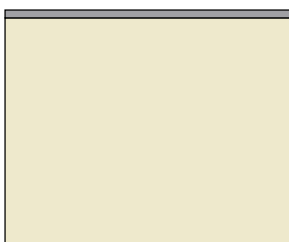


サイズ変更は高さ、厚みが入力可能

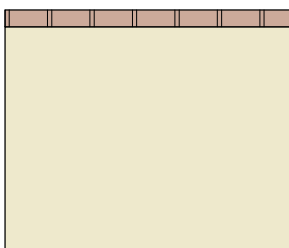


① なし

② モルタル笠木



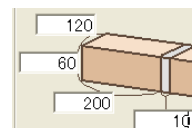
③ レンガ笠木



3：③ レンガの笠木が作成できます。

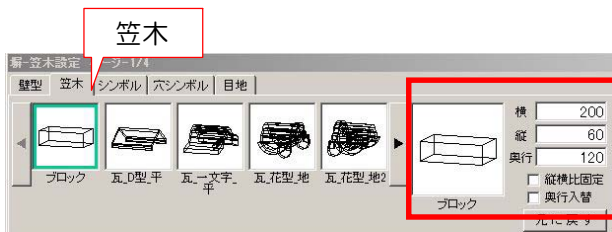
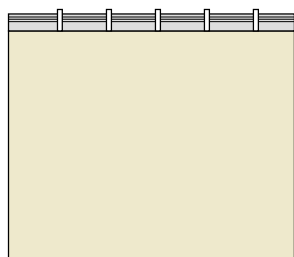


サイズ変更は高さ、厚み、幅、目地が入力可能




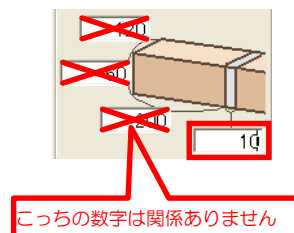
④ シンボル笠木

1：④シンボルを塀の上に配置できます。



2：下の笠木のタグを選択し、配置したい笠木を選択します。
左側のサイズを変更し塀に向かってドラッグします。

 サイズ変更は右下のサイズを変更してください。目地幅は入力できます。

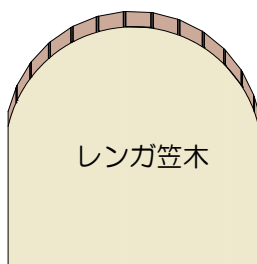


 【笠木を配置する時の注意】

笠木をドラッグする際、かならず塀が赤く反応してる事を確認してからドラッグをはなすようにしてください。

 【補足説明 アールの塀の場合】

アール天端に笠木を入れた場合



レンガ笠木

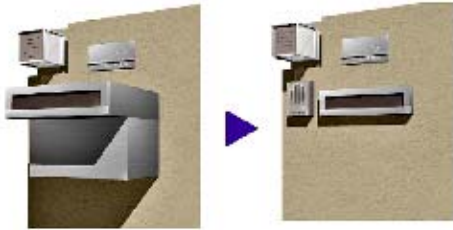


シンボル笠木

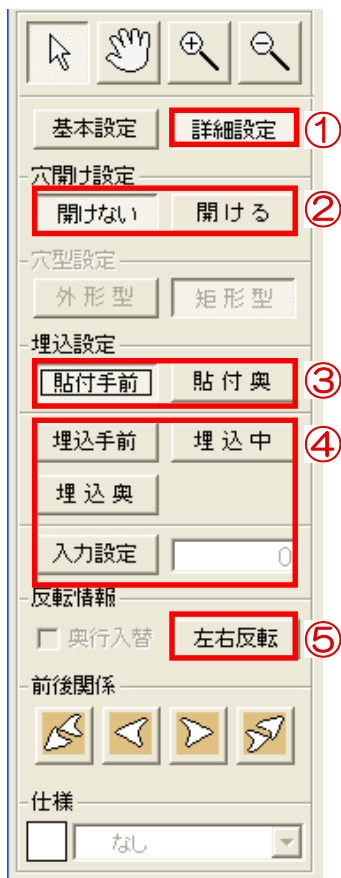
アール天端に笠を置く場合、シンボルのブロックで置く方がきれいです。

塀の中のシンボル詳細設定

塀に配置した製品の細かい設定ができます。



塀の中で配置したシンボルの詳細を細かく設定する事ができます。

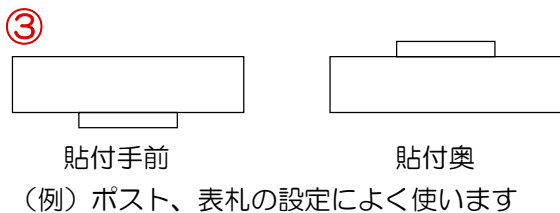


シンボル詳細設定の特徴

1：①詳細の設定時に使います。

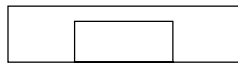
2：②製品を配置した部分の穴を開けたい時に使います。

(例) 住宅外観のサッシ窓を配置し穴開け設定にすると、中から外を見るパースを作る事ができます。

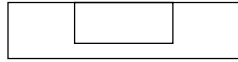


3：③壁を上から見て、製品をどちら側に貼り付けるかを設定できます。

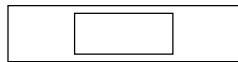
(例) 門灯の設定によく使います。



埋込手前



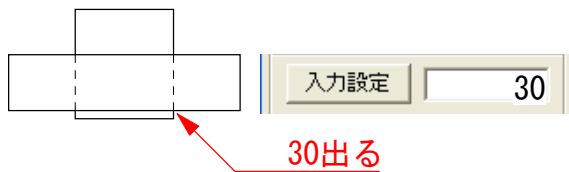
埋込奥



埋込中

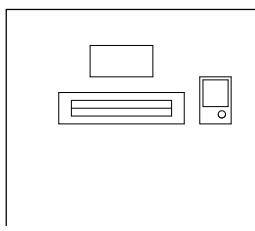
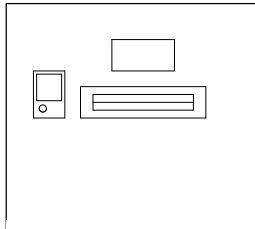
4：④壁を上から見て、どの位置に埋め込むかを設定できます。

5：④入力設定では、埋込手前の位置から数値分前に出す事が出来る設定です。




(例) 埋込型ポストなどで、前を少し出したい時使います。

6：⑤左右反転したい時に使用します。



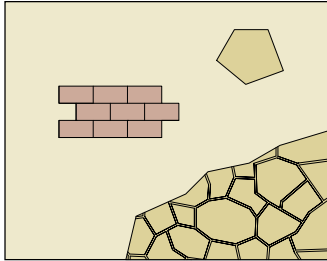
(例) 表札 3_セットのインターホン位置を反転などに使います。

💡 **【もっと詳しく知りたい方は。。】**

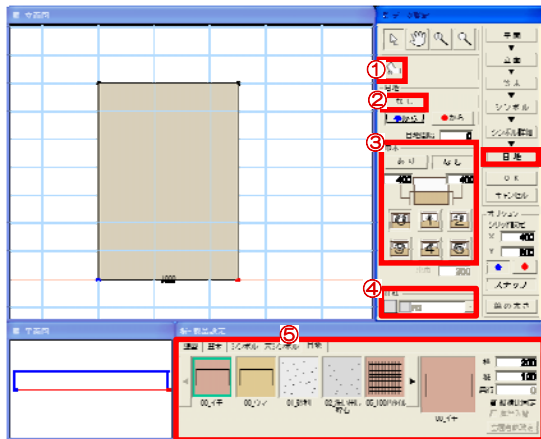
 [\[ポスト\]で検索](#)

巾木・部分貼り設定

部分貼り設定や巾木、目地を入れる時使います。



部分貼りや巾木を塀の中で設定する事ができます。



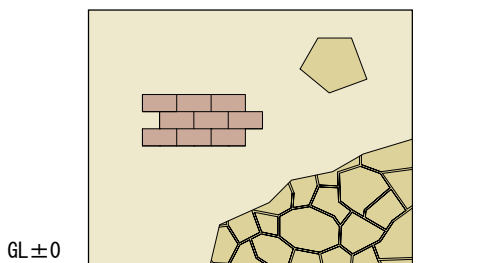
目地の特徴

1) ①部分貼りボタンです。
形状を描き、仕様or目地をドラッグでいれます。
部分貼りボタンをもう一度押すまで、いくつも部分貼りが描けます。



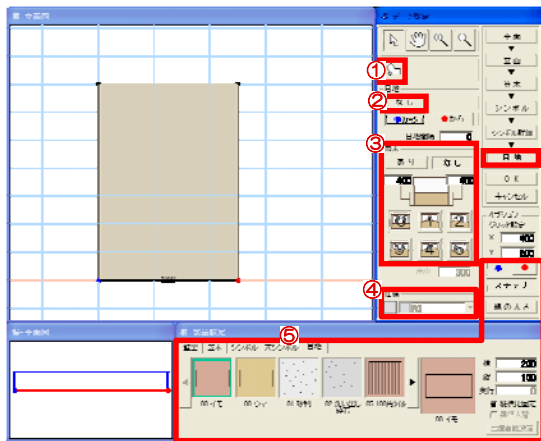
いらなくなった部分貼りは選択し
Backspaceで消せます。
ただし、部分貼りボタンを一度押してから
矢印で消したい部分貼りを選択し消さないと
消えません。

壁面に石張りやタイルなどを描けます。



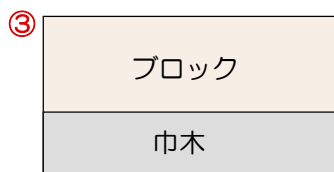
【表示グリットを使うと便利】

表示グリット設定を描きたいスパンに合わせて変更すると、描きやすくなります。
(例) タイル (200×100) に入力するとタイル割りに合わせてで作図が出来ます。又、乱形石などは、グリットスナップボタンをはずすとグリットに関係なく自由に描けます。



3：②目地なしボタンです。
目地のみ消され、部分貼りや塀が無くなる
わけではありません。

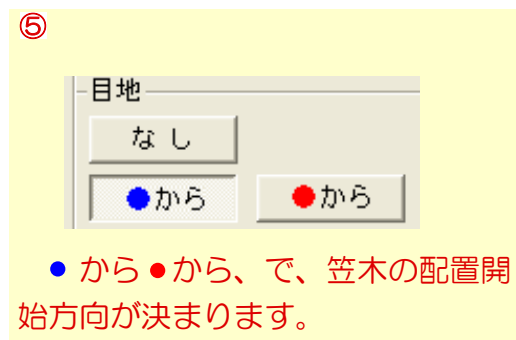
4：③巾木ボタンです。
巾木を入れたい時に使います。
また、塀を上下で違う素材にしたい時
にも使用できます。
(例) RCの上CB1段などの場合



まっすぐ、アール曲線の設出来ますが、
任意のラインはできません。ガタガタの
石貼りなどは、部分貼りでいれください。
※仕様を忘れず入れましょう。

5：④仕様
仕様で分けない限り、部分貼りや巾木を
作っても、パースの色が一緒になってしま
います。

部分貼りや巾木で作成した部分の仕様を入
れます。
下の目地をドラッグで入れると、自動で仕
様も変わります。



6：⑤目地パレット
塀にドラッグすると目地が入ります。

目地を入れなくても、仕様さえ入れておけば
e-painter上では問題ありません。